

世界から信頼される環境推進企業を目指して。 日野は、人と地球に配慮したトラックづくりを進めています。

全社的に取り組む環境保全活動

世界トップレベルの環境性能を持つ製品の提供をはじめ、生産から廃車に至るまでの環境負荷の低減を目指し、「日野地球環境憲章」と「日野自動車環境取り組みプラン」を策定。取り組みプランに基づいた環境保全活動に全社的に取り組んでいます。

車室内VOC^{※2}の低減

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しによりVOCの発生量を抑制。厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

※2:VOC(Volatile Organic Compounds:揮発性有機化合物)

Eco-VAS^{※1}の導入

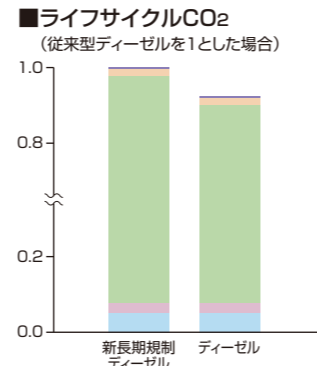
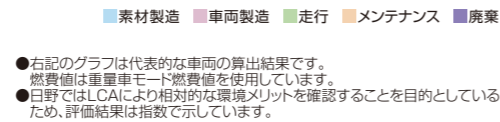
製品のライフサイクル(生産・使用・廃棄)全ての段階において環境負荷を把握し、削減するために、日野ではじめてEco-VASを導入しました。

※1:Eco-VAS(エコバス):Eco-Vehicle Assessment System
車の開発段階における、LCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた総合的な環境評価システム。



LCA(ライフサイクルアセスメント)の実施

走行段階だけでなく、トラックなどが製造・使用され、最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。日野では、その観点から、排出するCO₂や大気汚染物質の総量を従来車に比べ低減しています。



燃費値計算条件

車両総重量範囲	最大積重量	エンジン		標準諸元						トランスミッション	計算条件		
		型式	最高出力 (kW(PS)) _(ネット)	空車時 車両重量(kg)	最大 積重量(kg)	乗車 定員(人)	全高 (mm)	全幅 (mm)	ポデー 架装		最終 減速比	タイヤサイズ	動的負荷 半径(m)
3.5トン超 7.5トン以下	(1)1.5トン超 2.0トン以下	N04C-UP	110(150)	2,356	2,000	3	2,099	1,751	平ボデー	5速MT(M550)	4.100	185/85R16	0.350
										5速MT(MYY5A)	3.900	195/75R15	0.327
		N04C-UN	100(136)	2,356	2,000	3	2,099	1,751	平ボデー	5速MT(M550)	3.583	185/65R15	0.302
	(2)2.0トン超 3.0トン以下									5速MT(MYY5A)	3.900	195/75R15	0.327
		N04C-UP	110(150)	2,652	2,995	3	2,041	1,729	平ボデー	5速MT(M550)	4.333	205/85R16	0.366
										5速MT(MYY5A)	4.333	205/75R16	0.347
									5速MT(MYY5A)	4.333	205/75R16	0.347	
		N04C-UN	100(136)	2,652	2,995	3	2,041	1,729	平ボデー	6速AT(A860E)	4.333	225/80R17.5	0.389
7.5トン超8.0トン以下 ^{※3}	—	N04C-VU	132(180)	3,543	4,275	2	2,454	2,235	平ボデー	6速MT(RE60)	4.333	215/85R16	0.374

※3:オプション装着により適用となる場合があります。

*上記は、燃費値を計算するための数値です。各車型の諸元数値は、別冊の「主要諸元表」をご覧ください。

リサイクル料金

自動車リサイクル法により、下表のリサイクル料金が必要になります。

区分	モデル名	車 型	リサイクル料金預託金				資金管理料金	合 計
			シュレッダーダスト料金	エアバッグ類料金	フロン類料金	情報管理料金		
小 型	日野デュトロ	XZC、XZU	4,690	2,050 ^{※4}	1,950 ^{※4}	130	290	9,110

※4:エアバッグ及びエアコンの装備がない場合は0円になります。
リサイクル預託金が預託済のお車を商品車として譲渡する旧所有者(譲渡人)は車両価値部分とリサイクル預託金相当額の合計額を新所有者(譲受人)からお受取になることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。車種によっては、上記の料金と異なる場合があります。詳しくは販売会社営業スタッフに、ご確認ください。

(単位:円/台)
2017年4月時点

環境仕様

名称		日野デュトロ				
排出ガス記号・車型		2KG-XZ系	TKG-XZ系	TPG-XZ系	TKG-XZ系	
基礎情報	エンジン型式	N04C-VU	N04C-UP	N04C-UN	N04C-UN	
	種類	直列4気筒直接噴射式				
	総排気量 (L)	4,009				
	使用燃料	超低硫黄軽油(S-10ppm)				
	燃料噴射装置	電子制御式(コモンレール)				
	最高出力(ネット)	kW(PS) / rpm	132(180) / 2,800	110(150) / 2,500	100(136) / 2,500	100(136) / 2,500
駆動装置	最大トルク(ネット)	N·m(kgf·m) / rpm	470(47.9) / 1,400-2,600	420(43.0) / 1,400	390(40.0) / 1,400	390(40.0) / 1,400
	駆動方式		2-4D(2WD)	2-4D(2WD)、 2D-4D(4WD)	2-4D(2WD)	2-4D(2WD)、 2D-4D(4WD)
燃料消費率	トランスミッション		6速MT	5速MT	6速AT	5速MT
	重量車モード 燃費値 ^{※5} (km/L)	(1)1.5トン超2.0トン以下 (2)2.0トン超3.0トン以下 車両総重量7.5トン超	— — 7.30	10.40 9.60 —	11.00 10.20 —	10.40 9.60 —
環境性能情報	CO ₂ 排出量 (計算値) (g/km)	(1)1.5トン超2.0トン以下 (2)2.0トン超3.0トン以下 車両総重量7.5トン超	— — 354	249 269 —	235 254 —	249 269 —
	主要燃費改善対策		高圧噴射、電子制御式燃料噴射			
排出ガス	国土交通省	燃費基準	平成27年度燃費基準達成		平成27年度燃費基準+5%達成	平成27年度燃費基準達成
		排出ガス規制	平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制[規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]			
	規制値 (g/kWh)	CO	2.22			
		NMHC	0.17			
自治体	低公害車指定 指定基準値 (g/kWh)	NOx	0.7			
		PM	0.010			
車外騒音	規制適合(規制値)	九都県市指定低公害 [H21優低公害車]	九都県市指定低公害 [H21優低公害車]			
		指定基準値 (g/kWh)	九都県市	NOx:0.7、PM:0.007 平成27年度燃費基準達成		
エアコン冷媒と使用量	規制適合(規制値)	平成28年騒音規制 (加速騒音:77dB-A)	平成13年騒音規制 (加速騒音:80dB-A(4WD車は81dB-A))			
車室内VOC	代替フロンHFC134a 標準幅キャブ:400g/ワイドキャブ:500g(サブコンデンサー付は650g)	自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)				
環境負荷物質削減	自工会自主目標達成(1996年の1/10)					
	鉛	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止)				
	水銀	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
	カドミウム 六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
自工会目標適用除外部品	鉛:鉛バッテリー 水銀:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)					
取 環 境 組 みの	リサイクル	リサイクルしやすい材料を使用した部品	ドアトリム、インストルメントパネル等			
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり				
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、軸受、ベアリング等に使用				
ボデー仕様	環境負荷物質削減	車工会自主目標達成				

※5:重量車モード燃費値は法令に基づく標準的な諸元値および条件を用いてエンジン燃費を実測し、シミュレーション法で算出した国土交通省審査値です。この燃費値は法令で定められた左表の各車両区分の条件ごとの標準諸元値・車型による走行抵抗と、最終減速比およびタイヤの仕様、エアコンOFFなどの条件の下に算出しています。なお、実際の走行時にはその走り方や条件(気象、道路、車両、運転、架装ボデー、整備等の状況)が異なってきますので、それに応じて燃費は異なります。

<PCS> ●PCSの認識性能・制御性能には限界があります。道路状況、気象条件などによってはシステムが作動しない、衝突以外で作動する、または作動が遅れる場合があります。
●ミリ波レーダーは動物、立木など金属製以外のものは検知できません。また、自転車、オートバイなどは金属製でも障害物として検知できないことがあります。
<VSC> ●VSCはあらゆる状況において、車両の横転やスピン等を完全に防止するものではありません。運転時は、常に法定速度を守り、周囲の状況に応じた安全運転を心がけてください。また、次のような状況ではVSCが作動しなかったり、作動してもその効果が十分に得られない場合があります。■車両の速度がVSCの制御の限界を超えている時。■非常に滑りやすい凍結した路面を走行している場合。■横風・脱輪・バンクなど、危険要因が生じた場合。■過積載や後荷・高荷など、積み荷の積み方が適正でない場合。
<車線逸脱警報> ●画像センサーは走行状態や外部の環境および車両状態によっては作動しない場合があります。

SRSエアバッグは、シートベルトを補助する乗員保護補助装置です。安全のためには正しい姿勢で正しくシートベルトを着用することが前提となります。エアバッグは衝突時の衝撃が弱い場合、追突された時、横転時などの条件下および架装物によっては作動しない場合があります。また、チャイルドシートを助手席に装着する場合に、後ろ向きにしないなど、お守りいただきたい項目があります。車両の取扱説明書を必ずご覧ください。

■このほか、各安全装備について重要な注意事項が記載されておりますので、詳しくは取扱説明書をお読みください。
■各安全装備・システムだけに頼った運転は、絶対に行わないでください。各装備・システムはドライバーの安全運転の支援が目的であり、それ自体で事故や衝突を防止および回避するものではありません。運転時には、常に周囲の状況把握した上で法定速度を守った安全運転を行ってください。また、装備・システムを過信せず、体調不良を感じた時は必ずすみやかに安全な場所に停止し、休憩してください。
■各安全装備・システムについての詳細は、販売会社にお問い合わせください。